

「戦争させない埼玉の会」の
金曜宣伝行動(浦和駅東口)



猛暑が続く中、「戦争国家づくり」許さない 運動の先頭に立って、「埼玉県同盟会員四五〇名」を実現し、「県総会」を成功させよう



「不屈」No590付録
埼玉版 (No418)

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
埼玉県本部
〒330-0063
さいたま市浦和区高砂
2-3-10 黒澤ビル3B
電話・Fax 048-824-0094
✉ chian2022@gmail.com

岸田政権は、「戦後最悪」といわれた安倍政権さえしなかった、違憲の敵基地攻撃能力の保有に着手し、軍事費の2倍化に向けた大軍拡予算や軍拡財源法を強行し、「戦争国家づくり」を進めています。
国賠同盟は、同盟の存在意義をかけ、「戦争国家づくり」許さない運動の先頭に立って闘っています。
そのために、2万人の同盟建設を一刻も早く実現しよう」と中央本部が提起した 特別期間(4月〜6月)で、埼玉県同盟は、先進的な役割を果たしました。

埼玉同盟の果たした役割
まず、5月16日に行った50回目の

当初掲げた「30ヶ所5千人」の目標を観賞者数では超過達成し、全国でも先進的役割を果たしてきてきたが、埼玉県には63自治体あり、まだ三割を埋めたに過ぎず、到達状況を踏まえ、「新たな目標を持つて第三次運動の具体化を進めよう」と提案がされました。
いくつかの点について質問などもあり、それに答えるとともに、賛同団体や地域からこの間の取り組みやこの映画をどう取り組むかについて熱い討論が交わされました。そして、全体的には、提起した第三次上映運動の埼玉として、スタート会議となり、目標も8千人に引き上げ、未開催の重点自治体・行政区や若者対策なども決め意気高く取り組むことを拍手で確認し、散会となりました。

「国会請願三項目」

①国は、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
②国は、治安維持法犠牲者に謝罪し賠償を行うこと
③国は、治安維持法による犠牲の実態を調査し、その内容を公表すること

熱風

小林多喜二を虐殺した権力犯罪の主犯格ともいえる特高の中川成夫は、戦後、東京都北区教育委員長になりました。その他、多くの特高官僚たちが、戦後、国家机关や地方自治体で要職についています▼埼玉県では、北海道や福岡県の特高課長などを歴任した田中重之が、戦後一九五六年から埼玉県教育委員会委員長を務め、大阪府外事課長を務めていた吉田忠一は、一九四九年三月から埼玉県副知事を務めています▼このような、元特高官僚の戦後における登用は、戦時中の内務省の意志が、戦後も自治省に引き継がれていることの一つの現れだと言われています。特高官僚の戦後を追及して柳河瀬精故人元国賠同盟会長が書いた『告発 戦後の特高官僚』のサブタイトルの「反動潮流の源泉」は、特高官僚と戦後の行政とのこのような関係を指摘したものだと思えます。是非、お読みください▼一方、治安維持法犠牲者の方々は、戦前の厳しかった弾圧にもめげず、戦後、再び立ち上がりました。一九四六年二月四日の埼玉県庁での労働組合の結成に創立準備委員長として大きく貢献した庄子銀助さんもその一人です。

「総会議案」発表、8・26県総会を成功させましよう

本日、第58回県本部総会へ提案する「議案」を、会員の皆様にお届けします。是非、目を通してご意見をお寄せ下さい。

総会は、8月26日(土) 13時30分より、さいたま共済会館504号で行います。伊藤岳参議院議員のお話もあります。会員ならば誰でも参加できますので多くの皆様の参加をお待ちしております。

会員拡大にご協力ください

一面に掲載した様に、埼玉同盟は前総会で掲げた四五〇名会員実現まで、あと一歩になりました。会員拡大にご協力ください。

一気に7名の会員を拡大!

南区にお住いの東山寿美子さんは、加藤会長の呼びかけで、現在進めている「国賠埼玉女性の会」の再開の運動に積極的に参加しています。

「新しい戦前」といわれる現在、学童疎開など辛い体験をした者として、「戦争は絶対ダメ」の声をあげていますが、戦前、戦争に反対した人々がい

た事をもっと知らせていく必要性を感じています。日本はドイツなどと違って、これらの人々に対し謝罪も賠償も行っていない。今の時代に「国賠同盟運動」は大変重要だと思えます。周りの知り合いに国賠への入会を訴えろと気持ちよく入会してくれ、現在7名を拡大しました。国賠同盟を知らない方がまだ多く、もっともつと歴史を語り、歴史を学んでいくことが大事だと思います。(文責小池)

映画「わが青春つきるとも」県上映実行委員会を開催、目標を8千人に引き上げ、「第三次上映運動」成功に向けスタート

7月21日、映画「わが青春つきるとも」第5回県上映実行委員会が忙しい中、9つの賛同団体と各地域の代表ら20人が参加して開催されました。

桂壮三郎監督、原作者の藤田廣登さんも参加され、映画運動の全国の到達状況や第三次上映運動の意義などを豊富な資料を見ながら話されました。特に、各県が、上映運動を有権者比で見ると、全地域を網羅するなど「上映運動の広がりを作る」と強調されました。

大野辰男事務局長からは、埼玉が



国会請願署名推進コーナー

【個人署名】 (104筆)

- 高田哲郎 (小鹿野町) 10筆
- 原康長 (川口市) 20筆
- 新日本婦人の会 岩槻支部 5筆
- 埼玉県教職員組合
- 北足立北部教育会館 21筆
- 国賠同盟 岩槻支部 38筆
- 同 春日部支部 10筆

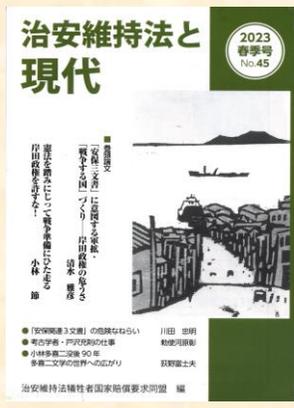
署名合計(7月31日現在)

個人署名 304筆
団体署名 2筆

*署名は毎月集約しています。集めた「署名」は、最寄りの同盟役員が県本部までお寄せください。

「治安維持法と現代」を読もう

年2回(春・秋)発行、千円「定期購読」申込受付中





秩父事件 墓碑探訪

最終回 井出為吉の墓碑

篠田 健一

井出為吉は安政六年(一八五九)に長野県南佐久郡北相木村きつての豪農の家に生まれた。九歳から一七歳まで同村大龍寺住職飯塚道周に漢学の手ほどきを受け、明治一〇年から一年間、東京の私塾で学んだ。一二年から北相木村啓分館学校の教壇に立ち、村会議員に当選している。一五年に自由党に加入し、一六年二月から翌年四月まで北相木村戸長を務めた。

井出家には為吉の蔵書、『仏蘭西法律書』『仏民法』『フランス革命史』などの書籍、『月桂新誌』などの雑誌が多数残されている。東京遊学の際に講読したものと思われる。

明治一七年秋、菊池貫平と共に秩父に入り武装蜂起では軍用金集

【お詫びとお知らせ】

前回の「氏名の表示、菊池寛一を菊池貫平にお詫びして訂正します。このコーナーは今回をもって終了となります。長年の購読ありがとうございました。読者の方からの要望もあり、パンフレットになりますので、ご期待下さい。(編集部)

事件後の一月一日、為吉は東京で逮捕され、裁判で軽懲役八年の刑を受け、浦和監獄に服役した。二年の大日本帝国憲法発布の大赦で帰郷。出獄後、名前を治雄と改名し、地元の小学校の教員、そして群馬県甘楽郡高瀬村役場、さらに吾妻郡や利根郡の書記を務めた。

明治三十七年(一九〇四)胃がんで東大病院に入院し、退院後実家に戻ったが、翌三八年五月死去、享年四五歳。菊池貫平が十勝監獄を出獄してから数か月後であった。井出家の墓地にある「大学院治徳賢雄居士」が為吉の墓碑である。

【交通】JR小海線小海駅下車、北相木村営バス老人センター入口下車、その前が実家。

武州一揆、秩父事件など埼玉県の先人達のたたかいからはじまり、熊谷大空襲、終戦まで、約三万字の読み物になっております。より良いものに仕上げたいと思います。読者のみなさんの忌憚ないご意見をお寄せ下さい。(編集部)

二〇二二年十月号から約二年間に渡って掲載された「秩父事件・墓碑探訪」は、人気コーナーとして紙面を飾ることが出来ました。先ず、お忙しい中、写真と原稿を毎月送って下さった秩父事件研究顕彰協議会会長篠田健一さんに感謝申し上げます。

次回からの「連載物」を検討した結果、現在作成中で、埼玉同盟創立50周年記念誌に掲載予定の「埼玉県の戦前における社会進歩のたたかいと抵抗の歴史」にする事になりました。

様な暴言がまかり通る日本にはならぬ。と叫びかけました。

6日投票で闘われた埼玉知事選、今回これ迄対立候補を立ててきた自民党が大野知事を応援する中、日本共産党はぎりぎりになりましたが、県委員会書記長の柴岡ゆうま氏を擁立し闘いました。

30日応援に駆け付けた小池書記局長は、「自公相乗りの冷たい果敢にしてはならない、若きリーダーで暖かい果敢の実現を」と力説。また、維新の馬場代表の発言に言及し、あの「暴言」は、戦前、共産党を「アカ」、「非国民」と弾圧し、治安維持法で非合法化し、侵略戦争に突き進んだ歴史を繰り返すこと。この

勇気ある決断に敬意！ 共産党、埼玉知事選に柴岡ゆうま氏を擁立

6日投票で闘われた埼玉知事選、今回これ迄対立候補を立ててきた自民党が大野知事を応援する中、日本共産党はぎりぎりになりましたが、県委員会書記長の柴岡ゆうま氏を擁立し闘いました。

30日応援に駆け付けた小池書記局長は、「自公相乗りの冷たい果敢にしてはならない、若きリーダーで暖かい果敢の実現を」と力説。また、維新の馬場代表の発言に言及し、あの「暴言」は、戦前、共産党を「アカ」、「非国民」と弾圧し、治安維持法で非合法化し、侵略戦争に突き進んだ歴史を繰り返すこと。この



平和は対話 武力によらない 平和の道をさぐる

7.29~8.1 「埼玉戦争展」開催



私も一言

G7の核抑止力論に怒り、世界の核廃絶の世論と連帯し核廃絶運動すめよう

原水爆禁止埼玉県協議会会長 伊藤 稔

同盟も構成団体として加わっている「埼玉戦争展」、今年は、7.29~31は、オンライン企画。8.1は、埼玉会館で沢山の催し物が行われました。今年のスローガンは、「平和は対話、武力によらない平和の道をさぐる」ですが、改めて「埼玉戦争展」の目的を探ってみました。次の3つです。

- 1, 戦争中の実物をあつめて、展示することで、2度と戦争をおこさない、おこせない決意をあらたにしあうこと
- 2, 核戦争3分前といわれる危険な状況を、戦前・戦中と対比させながら、さまざまな写真・図表・模型などの展示を通じて知らせること
- 3, 本当に平和な日本・世界をつくるためにも、核兵器廃絶の緊急性・重要性を明らかにすること



短歌

女性市議二つ返事で加盟する
四千元に同志の光
春日部市 細谷 宣朗

軍拡の中で物価は上がりゆく
小さき玉子割りて朝餉に
川口市 宮地 さか枝

俳句

冷房車汗を拭きつつ心で感謝
春日部市 浅子 薫衣

階段に手を添えのぼる義母の汗
行田市 大野 辰男

スイレンも暑い日謝しを浴びて咲く
行田市 鈴木しげる

終戦日戦前許さぬこの世紀
さいたま市 小池 荘市

川柳

悔恨の八月蟬の声沁みる
オスプレイ一段色濃く影落とす
春日部市 福家 駿吉

